資料－2

日野川水系河川整備計画（原案）【国管理区間】に関する意見集約結果について

平成28年1月14日

国土交通省　中国地方整備局

1. 意見聴取方法

【意見聴取方法一覧】

意見聴取方法	概　　要	回数等	意見募集期間等
河川整備計画(原案)の縦覧による意見聴取	国土交通省、鳥取県、米子市、伯耆町、南部町、日吉津村の関係部署に閲覧場所を設置	閲覧場所6機関	・平成27年7月21日(火)～ 平成27年8月27日(木)まで募集
事務所HPによる原案の掲載	事務所HPにて原案を公表し、メール・FAX・郵送による意見を受付	ー	
説明会（日野川水系河川整備計画説明会）の開催・意見聴取	米子市・伯耆町・南部町・日吉津村にて原案説明会を開催	4回開催	・平成27年7月28日(火) ～8月19日（水）開催

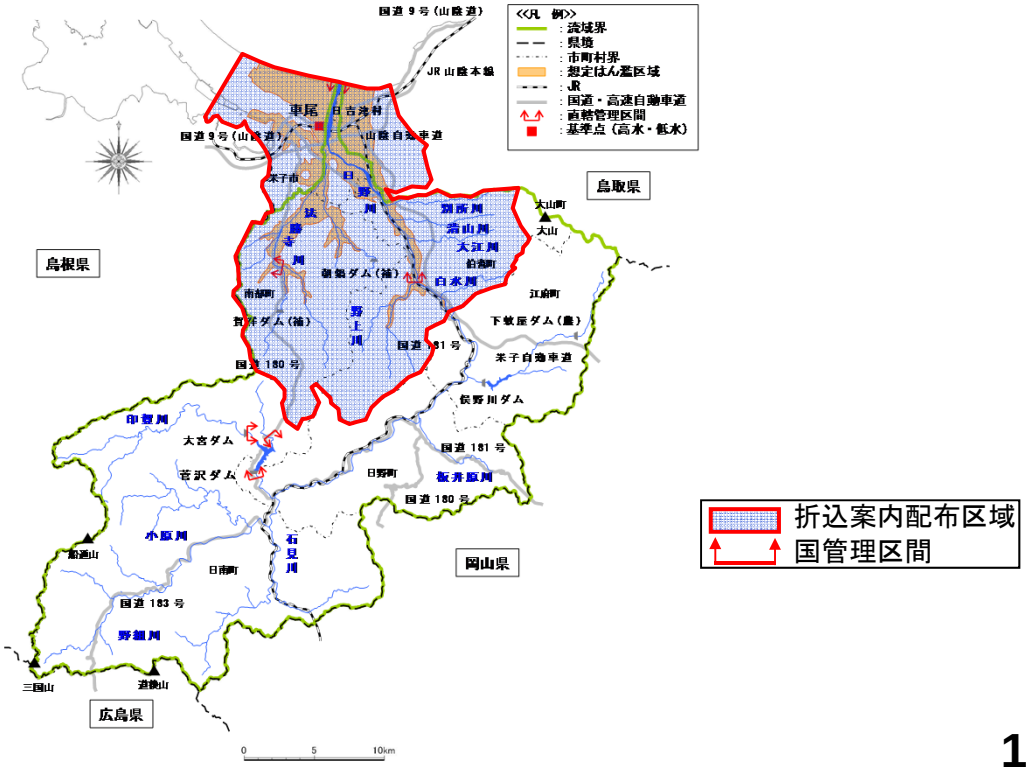
①河川整備計画（原案）【国管理区間】閲覧場所

■国土交通省、鳥取県、米子市、伯耆町、南部町、日吉津村の関係部署を対象に閲覧場所を設置。

国土交通省	日野川河川事務所
	菅沢ダム管理　支所
県	鳥取県西部総合事務所
市町	米子市
	伯耆町
	南部町
	日吉津村

②新聞折込案内配布区域

■住民説明会の案内配布区域は下図に示した国管理区間の想定氾濫区域を含む米子市・伯耆町・南部町・日吉津村に居住する住民とした。



2. 意見収集状況

【説明会の開催と参加者数】

■説明会「日野川水系河川整備計画説明会」を米子市、伯耆町、南部町、日吉津村で開催。
■延べ20人の方々の参加があった。

①説明会日時・参加者数等

会　　場	参加者数(人)	開催日時
米子市	6	平成27年7月28日（火） 19:00～21:00
伯耆町	3	平成27年7月30日（木） 19:00～21:00
日吉津村	4	平成27年7月31日（金） 19:00～21:00
南部町	7	平成27年8月19日（水） 19:00～21:00
合　　計	20	

西部総合事務所（米子市）

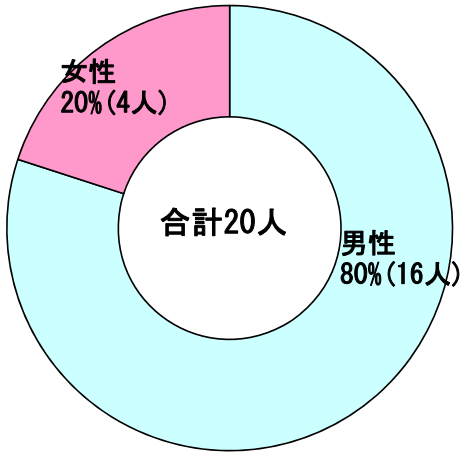
農村環境改善センター（伯耆町）

ヴィレステひえづ（日吉津村）

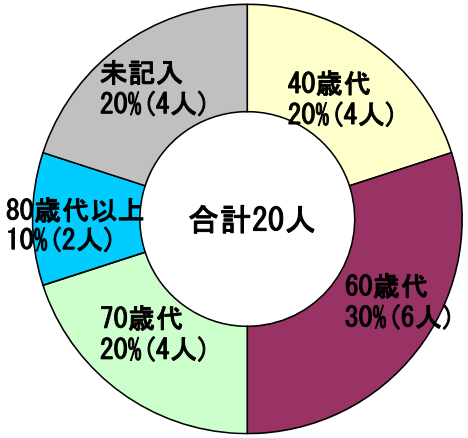
さいはく分館（南部町）

②説明会参加者の属性

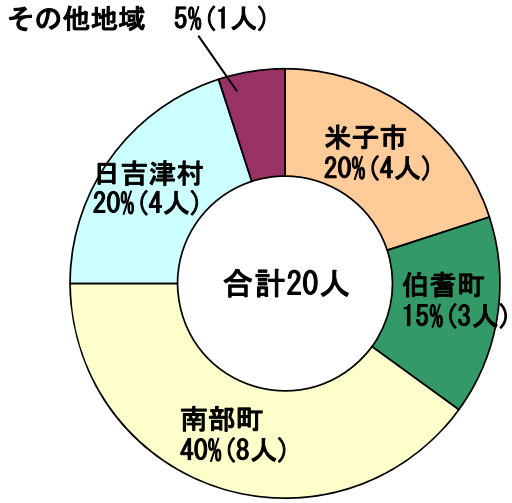
■男女比率：男性80%、女性20%である。
■年齢比率：60歳代以上の割合が高く、全体の60%を占める。
■説明会へ参加した住民の居住地比率は、南部町が40%、次いで米子市、日吉津村の20%、伯耆町が15%である。



男女比



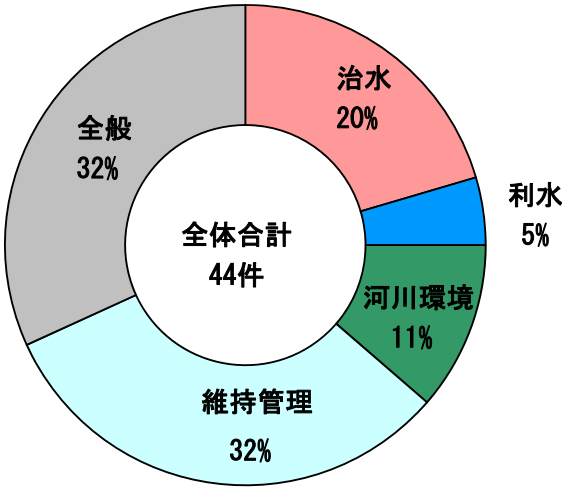
年齢構成



居住地比率

2. 意見収集状況

■意見を治水、利水、河川環境、維持管理、全般に分類した場合、意見全体合計では全般が32%、維持管理が32%、治水が20%、河川環境が11%、利水が5%の順となっている。



3. 意見区分

■治水、利水、河川環境、維持管理、全般に分類した意見内容をもとに、治水は2区分、利水は1区分、河川環境は2区分、維持管理は3区分、全般は2区分に分類する。各区分の表題一覧を整理する。

治水の区分	表　　題
治水－1	治水対策の整備目標、整備順序
治水－2	整備内容

維持管理の区分	表　　題
維持管理－1	洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
維持管理－2	河川環境の保全
維持管理－3	総合土砂管理

利水の区分	表　　題
利水－1	水量

全般の区分	表　　題
全般－1	関係機関との連携
全般－2	その他

河川環境の区分	表　　題
環境－1	自然環境の保全
環境－2	水質の保全

4. 整備計画（原案）に関する意見概要（治水）

区　分	意　　見	回　　答	備　　考
治水－１ 治水対策の整備目標、整備順序	河川整備基本方針の目標規模を100年に1度程度で良しとされた考え方を教えてほしい。	河川整備基本方針の計画規模は、国が管理している全国の一級水系109水系については社会資本整備審議会において、氾濫域の人口や資産等を考慮して規模を決めています。 河川整備基本方針については、補足説明を整備計画（案）P.49に追記しました。 なお、日野川の目標規模は、昭和47年7月洪水、平成10年10月洪水、平成16年10月洪水、平成18年7月洪水等の既往洪水について検討した結果、そのピーク流量を基準地点車尾において5,100m3/secとしています。	追加参考資料①
	整備計画の目標である昭和20年9月洪水をアッパーラインとされた考え方を教えてほしい。	過去の水害の発生状況、流域の重要度、これまでの整備状況等を総合的に勘案し、日野川水系河川整備基本方針に定めた目標に向けて、上下流及び本支川の治水安全度バランスを確保しつつ段階的かつ着実に河川整備を実施し、洪水による災害の発生の防止又は軽減を図ることを目標とします。 日野川においては戦後最大の被害が発生した昭和20年9月洪水と同規模の降雨で発生する洪水に対して、洪水氾濫による家屋等の浸水被害の防止を図ることが可能となります。法勝寺川においては、戦後最大洪水である昭和34年9月洪水と同規模の洪水に対して、洪水氾濫による浸水被害の防止を図ることが可能となります。 基本方針の目標規模へ一気に整備することはできないため、段階的な目標として、戦後最大の洪水としています。	整備計画（原案）P.49

※回答につきまして、**黒字**：個別回答によるもの　**青字**：日野川水系河川整備計画（原案）により回答するもの　**赤字**：懇談会での意見を踏まえ追加回答するもの

4. 整備計画（原案）に関する意見概要（治水）

<table>
<tr><th>区　分</th><th>意　　見</th><th>回　　答</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td>治水－１
治水対策の整備目標、整備順序</td><td>伯耆橋上下流までの区間はかなり整備されているが、他の区間は順次整備されるのか。</td><td>洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標の達成に向け、災害の発生状況、事業効果、上下流・本支川のバランス、コスト縮減等を考慮して（原案P53に示す概ね次の順序で）整備を行います。
表 5.1.1　段階的な河川整備の考え方
<table><tr><th>整備区間</th><th>主な整備内容</th><th>本計画期間</th></tr><tr><td>日野川中流地区</td><td>築堤（断面確保）、河道掘削、
堰改築、堰存置・継足し</td><td>→</td></tr><tr><td rowspan="2">法勝寺川</td><td>河道掘削、支川処理（青木地区等）</td><td>→</td></tr><tr><td>築堤（断面確保）、河道掘削</td><td>→</td></tr></table></td><td>整備計画（原案）P.53</td></tr>
<tr><td>治水－２
整備内容</td><td>法勝寺川の河道掘削区間はどこまで実施するのか。また、何年頃までに実施するのか。</td><td>法勝寺川の河道掘削は下流から実施しており、上流は三ヶ堰の下流まで行う予定です。掘削時期ついては、本計画の計画対象期間（概ね30年）内に実施予定です。
なお、本計画は現時点における社会経済状況や水害の発生状況、河川整備の状況、河川環境の状況等を前提として定めるものであり、これらの状況の変化や新たな知見の蓄積、技術の進歩等を踏まえ、必要に応じて適宜見直しを行います。</td><td>整備計画（原案）P.48</td></tr>
</table>

※回答につきまして、**黒字**：個別回答によるもの　**青字**：日野川水系河川整備計画（原案）により回答するもの　**赤字**：懇談会での意見を踏まえ追加回答するもの

4. 整備計画（原案）に関する意見概要（治水）

区　分	意　　見	回　　答	備　　考
治水－２ 整備内容	日野川と野上川の合流点に中州があるため、右岸が水衝部となっている。掘削等を実施してほしい。	日野川中流区間の河道掘削については、流下能力が不足する箇所の掘削を実施します。 ・日野川（大寺・岸本地区　：　8.6k～11.0k）【掘削①】 （岸本･立岩･小町地区：11.6k～13.8k）【掘削②】 （溝口・宇代地区　：14.2k～15.6k）【掘削③】 （溝口・中祖地区　：16.8k～17.0k）【掘削④】	整備計画（原案）P.56
	明治36年洪水時には溝口の下町が洪水になった。堤防が低いのではないか。	現在の溝口地区の堤防については、計画高水位の高さを満足するものとなっています。	
	宇代地区等、上流の堤防整備をお願いしたい。	日野川中流区間の築堤については、堤防の高さや幅が不足している区間の整備を実施します。 ・日野川（立岩地区　：12.8k～13.6k　右岸）【築堤①】 （溝口地区　：13.8k～15.2k　右岸）【築堤②】 （溝口地区　：15.6k～16.0k　右岸）【築堤③】	整備計画（原案）P.56
	青木橋（四ヶ村堰）、大袋橋（三ヶ堰）に農水省管理の堰がある、これらは転倒堰（一部でも）になるのか。	整備計画期間内において、河川改修単独事業での堰改築は予定していません。	
	日野川の伯耆橋より上流の整備をお願いしたい。	日野川伯耆橋（約9.8k付近）から上流は、堤防の高さや幅が不足する箇所、流下能力が不足する箇所が連続しているため、整備計画期間の目標を達成するために必要な築堤（断面確保）、河道掘削、堰改築等を実施します。	

※回答につきまして、**黒字**：個別回答によるもの　**青字**：日野川水系河川整備計画（原案）により回答するもの　**赤字**：懇談会での意見を踏まえ追加回答するもの

5. 整備計画（原案）に関する意見概要（利水）

区　分	意　　見	回　　答	備　　考
利水－１ 河川の水量	河川の水量は保たれているのか。	日野川水系河川整備計画方針で定められた流水の正常な機能を維持するため必要な流量（車尾地点：通年概ね6m³/s）を確保できない年は、昭和37年～平成25年の欠測を除いた42年間のうち28年、平成元年～平成25年の欠測を除いた21年間のうち15年発生しています。 ＜補足＞ 関係機関と連携して必要な水量の確保に努めます。	整備計画(原案)P. 29
	菅沢ダムの貯水量を増やすことは渇水時に水を流すということなのか。	水道用水、工業用水、農業用水等の利水の現況、動植物の保護、漁業、景観を考慮した流水の正常な機能を維持するため、車尾地点で概ね6m³/s（通年）の確保に努めます。安定的、継続的な水利用を可能にするため、渇水時の情報提供、関係機関との情報伝達体制の整備・調整を図るとともに菅沢ダムの容量の有効活用について調査・検討を進めます。	整備計画(原案) P. 63

※回答につきまして、**黒字**：個別回答によるもの　**青字**：日野川水系河川整備計画（原案）により回答するもの　**赤字**：懇談会での意見を踏まえ追加回答するもの

6. 整備計画（原案）に関する意見概要（環境）

区　分	意　　見	回　　答	備　　考
環境－１ 自然環境の保全	整備にあたって、動植物への配慮をお願いしたい。	河川整備にあたっては、各地区それぞれの特徴や生態系ネットワークに配慮した河川整備を推進します。河川整備にあたって、動植物への影響が懸念される場合は、河川水辺の国勢調査における各分野のアドバイザーからご指導いただきながら対応を検討します。 また、事前調査により重要な動植物の生息・生育・繁殖環境が確認された場合には、希少性を勘案し、ミティゲーションの検討を行い可能な限り保全に努めます。 日野川の自然環境を保全するため、河川及びダムでの「河川水辺の国勢調査」等によって動植物の生息・生育・繁殖状況に関するモニタリングや河川空間の利用状況を確認します。 また、河川整備により河川環境が大きく変化し、動植物の生息・生育・繁殖環境に影響をおよぼすことが懸念される場合は、事前に学識者等の意見を聞くなど、良好な自然環境の保全に努めます。	整備計画（原案）P.63 整備計画（原案）P.74
	環境への取り組みにあたり、専門家の助言をどのように得ているのか。		
	整備にあたっては可能な限り自然を残してほしい。また、環境調査は実施しているのか。		
環境－２ 水質の保全	水質基準A、AA類型の区分はどのような基準なのか。	水質基準は、環境基本法に基づき、人の健康を保護し、および生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として定められたものです。A類型はBOD2mg/ℓ以下、AA類型はBOD1mg/ℓ以下の水域として指定された区間です。	
	市山地先内の水質を水生昆虫や魚を使って調査をしたことがあり、下流部は少し汚れてⅢに近い状況であり、水質的にはゲンジボタルがいる水質階級となっている。 説明資料P26に記載のA類型、AA類型の区分はどのようなものなのか。		

※回答につきまして、**黒字**：個別回答によるもの　**青字**：日野川水系河川整備計画（原案）により回答するもの　**赤字**：懇談会での意見を踏まえ追加回答するもの

7. 整備計画（原案）に関する意見概要（維持管理）

区　分	意　　見	回　　答	備　　考
維持管理 －１ 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	日野川の河原が荒廃し、竹や木が生え、洪水になった場合は大変なことになるのではないか。竹や木を伐採してほしい。	河道内の樹林化は、洪水の流下阻害や樹木と堤防の間に高速流を発生させて堤防を侵食する等、治水上の安全性を低下させるおそれがあります。また、土砂の捕捉により砂州の固定や陸地化が進行し、環境や景観を損うおそれがあります。 このため、樹木の成長や繁茂の状況を定期的に調査するとともに、計画的に伐採を行う必要があります。 一方、河道内の樹木はその周辺に生息する生物にとって重要な生息環境となる場合もあることから、それらの機能の保全に配慮しつつ、河道内の流下能力や堤防等の施設の安全性の確保、瀬・淵や礫河原等の環境や景観の保全を図ります。	整備計画（原案）P.67
	菅沢ダムの放流で水位が急上昇するため、河原で釣りや遊んでいる人もあり、考慮してほしい。	ゲートを開けて放流する場合は、サイレンを鳴らし、パトロールを行い安全を確認した上で放流を開始しています。	
	菅沢ダムは砂が溜まり水を蓄える量が少なくなってきているのではないか。	菅沢ダムの堆砂は、平成26年度末時点において、計画堆砂容量260万m^3に対して88万m^3となっており、総貯水容量に対する堆積土砂量の比率（堆砂率）は34%となっています。	追加参考資料②
	菅沢ダムに堆積した砂はトラックで運び出すのか。	堆積土砂を掘り出す作業を実施する場合の方法については別途検討します。	

※回答につきまして、**黒字**：個別回答によるもの　**青字**：日野川水系河川整備計画（原案）により回答するもの　**赤字**：懇談会での意見を踏まえ追加回答するもの

7. 整備計画（原案）に関する意見概要（維持管理）

区　分	意　　見	回　　答	備　　考
維持管理－１	堤防道路は交通弱者が安全に移動できる場所という認識を持ってほしい。	ご意見としてお伺いします。	
洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	不法投棄の現状を教えてほしい。	日野川の河川敷には公園緑地、野球場、ラグビー・サッカーコート等が整備され、河川敷利用が盛んな河川です。 一方で、ゴミ等の不法投棄により河川環境および景観の悪化が懸念されます。 平成26年度の不法投棄件数は115件となっており、概ね横ばい傾向となっています。	整備計画（原案）P.45
	減災・危機管理対策のハードとソフトの組み合わせとはどのような対策を想定しているのか。	ハードについては、本計画で示した整備実施内容を考えており、ソフト対策については、円滑な避難のための洪水予報・水防警報の発表、水位情報等の周知、浸水区域・避難場所等を記載したハザードマップ等を想定しています。	
維持管理－２ 河川環境の保全	特定外来種ヌートリアの駆除をお願いしたい。	鳥獣の駆除等対策については、関係機関と調整をさせていただきます。	追加参考資料③

※回答につきまして、**黒字**：個別回答によるもの　**青字**：日野川水系河川整備計画（原案）により回答するもの　**赤字**：懇談会での意見を踏まえ追加回答するもの

7. 整備計画（原案）に関する意見概要（維持管理）

区　分	意　　見	回　　答	備　　考
維持管理 －3 総合土砂管理	皆生海岸のサンドリサイクルはうまく機能しているのか。	かつてたたら製鉄に伴う「鉄穴流し」が盛んに行われ、砂鉄を採取するのに山を削り、大量の土砂が流出し、西向きの沿岸流の影響により、土砂が境港の方に流れ、海浜が形成されていましたが、大正末期にたたら製鉄が終わり、日野川から流れ出す砂の量が減ったことにより、皆生温泉付近から海岸線の後退がはじまり、現在も侵食する傾向となっています。 日野川では、上流から海岸までの総合的な土砂管理の観点から、日野川流域が持つ土砂供給能力を最大限に引き出し、海岸域への土砂供給による海岸線の維持、回復に向けた検討・対策を行うとともに、河床高や河床材料の経年変化等の土砂移動に関する継続的なモニタリング等を実施し、その結果を検証しながら順応的な土砂管理を行います。	整備計画（原案）P. 77
	境港の方に砂が流れていった原因はなにか。		
	昭和20年頃までは大きな砂浜が残っていたが、砂浜が無くなった原因は何か。		
	境港に岸壁ができた後に砂浜が無くなった。		
	小学生のとき、砂浜が無くなり、松を植えた。	ご意見としてお伺いいたします。	
	砂浜が無くなる原因が何かあったと思う。		

※回答につきまして、**黒字**：個別回答によるもの　**青字**：日野川水系河川整備計画（原案）により回答するもの　**赤字**：懇談会での意見を踏まえ追加回答するもの

8. 整備計画（原案）に関する意見概要（全般）

区　分	意　　見	回　　答	備　　考
全般－１ 関係機関との連携	以前、米川まで水を流すための樋門が設置されたが、老朽化のため撤去してもらった。不要になれば知らぬ顔である。	取水堰、橋梁や樋門・樋管等の許可工作物は、老朽化の進行等により機能や洪水時等の操作に支障が生じるおそれがあるため、施設管理者と合同で定期的に確認を行うことにより、施設の管理状況を把握し、定められた基準等に基づき適正に管理されるよう、施設管理者に対し助言・指導を行います。	整備計画（原案）P. 69
	法勝寺川における築堤等の整備を実施する際には、桜の維持管理を行っているボランティア団体が協力したいと考えている。	整備にあたっては、地域住民の方の意見を踏まえ、関係者と協議しながら対応していきます。	
	法勝寺川の堤防は通学路となっているが、桜が老朽化し危険な箇所もある。桜の枝の伐採や撤去等の費用負担、責任の所在はどうなっているのか。	桜の維持管理については、町が中心となって実施しています。	

※回答につきまして、**黒字**：個別回答によるもの　**青字**：日野川水系河川整備計画（原案）により回答するもの　**赤字**：懇談会での意見を踏まえ追加回答するもの

8. 整備計画（原案）に関する意見概要（全般）

区　分	意　　見	回　　答	備　　考
全般－２ その他意見	日野川と谷川川（大谷川）の合流付近が破堤すると溝口の町が全滅するため、堤防部分の木は残した方が良いということであった。	治水上の流下阻害や河川管理施設への影響を考慮しながら適切に樹木管理して参ります。	
	感想を言うと、治水が最も大切である。	治水、利水、環境に係る施策を総合的に展開します。	整備計画（原案）P. 46
	どこに住んでいようと自分の財産には変わりない。重点的に整備される区域とそうでない区域に分かれるのは残念である。	河川整備基本方針に定めた目標に向けて段階的かつ着実に河川の整備を実施して参ります。	整備計画（原案）P. 49
	鬼守橋付近より上流の堤防が崩れた場合、溝口が洪水になる。昭和9年の大洪水のような洪水が発生すれば、宇代地区の農地も流されてしまう。	ご意見として伺いいたします。	
	八幡神社付近から下流は何回も破堤し、死者も出ている。		
	大山の水が買占められているという話を聞くが、本当のことなのか。		
	日野川ではサケ、ウナギ、シジミ、アユなど多くの魚がいた。	日野川の自然環境を保全するため、河川及びダムでの「河川水辺の国勢調査」等によって動植物の生息・生育・繁殖状況に関するモニタリングを実施して参ります。	整備計画（原案）P. 74
	説明会の参加者の少なさはどのように感じているのか。	今回の説明会の開催にあたり、住民の方への広報として新聞折り込み広告（約68,000部配布）、記者発表、ホームページでの公表を実施しました。今後、事業説明会等を開催する際には、市町村との連携により周知を取り組んで参ります。	

※回答につきまして、**黒字**：個別回答によるもの　**青字**：日野川水系河川整備計画（原案）により回答するもの　**赤字**：懇談会での意見を踏まえ追加回答するもの

8. 整備計画（原案）に関する意見概要（全般）

区　分	意　　見	回　　答	備　　考
その他意見	受付で記載した氏名、住所等の個人情報はどのように利用するのか。	個人情報は適切に管理いたします。	
	専門用語を分かりやすく説明してほしい。	可能な限り平易な説明を心掛けていますが、専門用語については、該当ページの下へ注釈を記載しております。	
	流下能力図のグラフの見方を教えてほしい。	流下能力は、現在の川の断面積でどの程度の洪水を流すことができるかを地点毎の流量で表したものです。縦軸が流下能力、横軸が河口からの累加距離を表しています。	

※回答につきまして、**黒字**：個別回答によるもの　**青字**：日野川水系河川整備計画（原案）により回答するもの　**赤字**：懇談会での意見を踏まえ追加回答するもの